

令和3年度3月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 議事録

日時： 令和4年3月5日(土) 15:00~18:00

場所： ハービス PLAZA 5階(8,9,10号)会議室

会 長： 長谷川利雄 会長代行： 藤本啓治

副会長： 小林正之 白木隆士 木下裕介 堀口泰輔

理 事： 榎本 誠 大窪 博 大成浩征 荻野 晃 片岡英一郎 貴島浩二 岸本英樹
岸本成人 小坂理也 古瀬洋一 清水広太 神藤佳孝 田上実男 調子和則
中川浩彰 中谷晃之 中野晋吾 邊見俊一 前中孝文 増田 博 宮口正継
宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹 村上仁志 森本清一 山口眞一 梁 裕昭
吉村弘治 和田孝彦 山本 哲

監 事： 黒田晃司 松矢浩司

理事会・常任理事会オブザーバー： 右近良治 (敬称略)

令和3年度12月O C O A理事会議事録の承認 中野理事

令和3年度12月O C O A理事会議事録(案)が提示され、承認された。

[協議事項]

1、研修会予定

堀口副会長

- ・第349回研修会まではWEB開催。
第350回研修会より感染対策を講じての公式ハイブリッドでの開催を基本とする。
- ・第352回研修会はファイザー製薬からの要請により2講演合せて座長1名となった。
- ・第348回~第353回の研修会について開催内容と座長の提案(下記に記載)があった。

以上、承認された。

第348回研修会(令和4年3月26日WEB開催、ビデオオンE-TESTなし)共催:中外製薬

講演Ⅰ:「RA患者のQOL最大化には何が必要か? ~筋肉からのアプローチ~」

座長: 山口眞一 先生 演者: 大阪市立総合医療センター医長 多田昌弘 先生

日整会 N6、N13、Re、日医 19(身体機能の低下)、73(慢性疾患・複合疾患の管理)

講演Ⅱ:「COVID-19 アップデート」

座長: 白木隆士 先生 演者: 大阪大学大学院医学系研究科教授 忽那賢志 先生

日整会 N1、N6、日医 8(感染対策)、9(医療情報) 日本リウマチ学会(講演Ⅰ・Ⅱ)

日本リウマチ財団（講演Ⅰ・Ⅱ）、日本リハビリテーション医学会（講演Ⅰ、1単位）

第349回研修会（令和4年4月16日 WEB開催）共催:大正製薬

講演Ⅰ：「最新の骨関節疾患治療の動向 -2022 update-」座長：邊見俊一 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科特任講師 蛭名耕介 先生

日整会 N4、N6、R、日医 9（医療情報）、61（関節痛）

講演Ⅱ：「がんロコモについて - 転移性脊椎腫瘍の手術治療を中心に」

座長：貴島浩二 先生 演者：近畿大学奈良病院教授 戸川大輔 先生

日整会 N5、N7、SS、日医 59、60、日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱ）

*（申請中）日本リウマチ財団（講演Ⅰ） 日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ）

第350回研修会（令和4年5月14日 ハイブリッド開催）

現地会場：エーザイ(株)大阪コミュニケーションオフィス 100名）共催:エーザイ

講演Ⅰ：「関節リウマチの診療～総合診療科医の立場から（含：連携について～）」

座長：岸本英樹 先生 演者：大阪市立総合医療センター診療部長 後藤仁志 先生

日整会 N1、N6、R（申請中）

講演Ⅱ：「小児運動器疾患に対する診断の基本とピットフォール」

座長：和田孝彦 先生 演者：関西医科大学 診療講師 片岡浩之 先生

日整会 N3、N11（申請中）

日医 4（医師－患者関係とコミュニケーション）、72（成長・発達の障害）申請中、

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）申請中、

日本リウマチ財団:学術講演（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）、日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ）申請中

第351回研修会（令和4年6月18日 ハイブリッド開催）

現地会場：リーガロイヤルホテル 50名）共催:小野薬品工業

講演Ⅰ：「新しい関節リウマチ診療ガイドラインとアバタセプトの位置づけ」

座長：梁 裕昭 先生

演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 西田圭一郎 先生

講演Ⅱ：「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」

座長：荻野 晃先生 演者：大阪大学大学院医学系研究科 助教 武中章太 先生

第352回研修会（令和4年7月9日 ハイブリッド開催）

現地会場：ANA クラウンプラザホテル大阪）共催:ファイザー製薬

講演Ⅰ：「変形性関節症における慢性疼痛とその治療」

座長：森下 忍 先生 演者：島根大学医学部整形外科学教授 内尾祐司 先生

講演Ⅱ：「股関節痛に対する治療～人工股関節全置換術の変遷～」

座長：森下 忍 先生 演者：医療法人河端病院 部長 末広 洋 先生

第353回研修会（令和4年8月20日（土）旭化成ファーマ）

講演Ⅰ：「(未定)」座長：大成浩征 先生

講演Ⅱ：「外来でよく見かける足部足関節のスポーツ障害と慢性疾患」

座長：宮田重樹 先生 演者：奈良県立医科大学整形外科教室准教授 谷口 晃 先生

第 354 回研修会：令和 4 年 9 月 17 日（土） 第一三共

第 355 回研修会：令和 4 年 10 月 22 日（土） 帝人ヘルスケア

第 356 回研修会：令和 4 年 11 月 12 日（土） 久光製薬

講演Ⅰ：演者：大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学整形外科学 講師 海渡貴司 先生

講演Ⅱ：「Two-incision THA 文化人類学的ミカター」

演者：和歌山県立医科大学 整形外科 講師 西山大介 先生

2、令和 4 年度 OCOA 組織表

長谷川会長

令和 4・5 年度一般社団法人大阪臨床整形外科医会組織表（案）が提示され、第 46 回 OCOA 総会での協議事項として承認された。

3、高齢者アンケート

長谷川会長

JCOA/SLOC から、子ども時代の運動習慣と現在の身体状況、治療中の運動器疾患を調査する「高齢者の運動習慣アンケート」の実施について協力依頼があり、承認された。

4、会員動態

白木副会長

前回理事会（令和 3 年 12 月 4 日、正会員 496 名）以降

新入会 0 名

退会 9 名（内正会員 6 名、特別会員 1 名）

福田 寛二 先生 令和 3 年 12 月 11 日 ご逝去 顧問

濱田 彰 先生 令和 3 年 12 月 18 日 ご逝去 名誉会員

天野 敬一 先生 令和 3 年 12 月 22 日 ご逝去 特別会員で正会員

小野村 敏信 先生 令和 3 年 12 月 31 日 ご逝去 名誉会員

中山 明 先生 令和 4 年 1 月 12 日 ご逝去 正会員

福井 英民 先生 令和 4 年 2 月 4 日 退会届提出 正会員

服部 良治 先生 令和 4 年 2 月 8 日 ご逝去 特別会員で正会員 JCOA 名誉会員

橋本 千暉 先生 令和 4 年 2 月 16 日 退会届提出 正会員

上田 晏弘 先生 令和 4 年 2 月 14 日 ご逝去 OCOA 正会員

令和 4 年 2 月 16 日現在

正会員 490 名 特別会員 6 名 顧問 7 名 特別顧問 1 名 名誉会員 9 名

合計 512 名（JCOA 正会員 491 名）

5、大塚製薬株式会社と OCOA の共催プランに関して

神藤理事

OCOA 会員施設を対象とする疾患啓発ポスター展開（協力：OCOA、と記載され令和 4 年 7 月配布）についての業務委託契約書（100,000 円消費税別）の提示があり、承認された。診療所でエクエル（商品名）などの販売することは法的に問題ない。

6、令和 3 年度収支決算

木下副会長

別資料（会計報告として 3 期比較、予算決算比較表、正味財産増減計算書、貸借対照表、附属明細書、財産目録）の説明がなされ、令和 3 年度収支決算案が承認された（黒字決済）。

- ・本年度より会員から JCOA 会費を 5 月に 1 年分まとめて集金することになり、8 月の JCOA への会員 JCOA 会費一括納入がやりやすくなった、と報告があった。
- ・ホームページ刷新引当金 150 万円（令和 4 年度予算案に組み込み）が計上されている。
- ・研修会が WEB 開催のためシステム利用料、WEB 作業費、単位申請費、令和 4 年 1 月の OCOA スポーツ研修会（単独開催）などの経費が増えた。

7、令和 4 年度予算案

木下副会長

別資料（予算案の正味財産増減計算書、貸借対照表、附属明細書、財産目録）の説明がなされ、予算案が承認された。令和 3 年度に準じて WEB 研修会関連費用、OCOA スポーツ研修会費用などの予算が計上されている。

8、監査報告書

木下副会長

令和 4 年 2 月 19 日に令和 3 年度の OCOA 歳入・歳出について監事 3 名の監査の結果、適正に会計処理されていることが認められた、と黒田監事から報告された。

9、第 46 回 OCOA 総会レジメ

中野理事

総会レジメ最終案（別資料）について、修正や追記などが確認され、承認された。

10、その他

長谷川会長

(1)大阪マラソン（報告事項から協議事項へ変更） 荻野理事

第 10 回大阪マラソン（平成 4 年 2 月 27 日）は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等重点措置期間中となったためエリートのみ数百人での開催となり、一般ランナー参加の中止に伴って OCOA からの救護所出務も中止となった。このためホテルニューオータニ大阪で予定されていた報告会も中止となりキャンセル料が発生。当初、ホテル側から総見積額の 70%（397,705 円）の提示があったが、松矢先生・長谷川会長・古瀬先生・荻野先生がホテル側と交渉の結果、26%（145,000 円）に減額されたキャンセル料となり、長谷川会長が承諾し支払うこととした。この支払いの件について、本理事会で承認された。

(2)長谷川会長からの審議要請

以下の 2 つの案件についての進行状況についての審議を求められ、内容が承認された。

1、OCOA ホームページ刷新について (OCOA ホームページ WG 担当 神藤理事が答申)

OCOA ホームページの刷新については理事会および広報委員会にて審議してきたが、昨今の状況を鑑みてこの機会に OCOA ホームページの刷新をした方が良いのではないかと会長から提案があった。これについて審議の結果、OCOA ホームページの刷新することの承認が得られた。神藤理事より OCOA ホームページ WG 立上げ経緯が説明され以下のように活動の報告と予定が示された。

- ・令和4年3月4日に第1回会議が開催された。あと2回のWG会議を経て、令和4年4月1日に立ち上げる予定。(依頼先) ローカルサポート。
- ・以下の基本的なコンセプトで、わかりやすく見やすい画面をデザイナーと工夫している。
 - ①一般の方々に見てもらえるようなHP作成
 - ②情報発信プラットフォームとしての役割
 - ③メーカー等のバーナー広告による収益性を考える。

2、会報誌の PDF 化について (広報委員会 調子理事 が答申)

会報誌の PDF 化について広報委員会にて審議が行われてきた。すぐに PDF 化することは時期尚早であるが、今後の ICT 化や日整学会雑誌の紙媒体の廃止等の動きを鑑みて、当分の間は会報を紙媒体と PDF の両方を作成し、徐々に PDF 化していくことの提案が会長からあり、これについて承認が得られた。ただし、今後は PDF を希望する者については PDF を URL にて通知する等経費を節約に努めることとした。

・次回第 48 号では全会員には会報誌を送付、JCOA 役員や各 COA 代表者および国会図書館には原則として会報内容を PDF 化しメール送信、依頼された場合のみ会報誌を送付する。これにより配送費がかなり節約できる。今後は徐々に PDF 化 (メール送信) に移行する。

[報告事項]

1、改定率について

長谷川会長

2022 年度の診療報酬改定は、首相裁定で医師らの人件費などにあたる「本体」部分を 0.43%引き上げるプラス改定とすることで決着した。

2、令和3年度第1回災害医療チーム検討委員会 9/9・WEB 神藤理事

各地区内での発災時に対応できる連絡網の構築 (顔のみえる関係の構築) を目的として、各地区単位で災害関連の実務委員会の開催を理事会へ上程することとなった。

3、第4回 JCOA 災害医療チーム研修会 2/12・WEB 神藤理事

講演1「中学生防災士による子供向け防災講演」

演者：IBLaboratory 研究員 出水真輝さん

講演2「災害医療に関わる一員としての基礎知識 Vol.1」

演者：JCOA 理事 河村英徳 先生

4、第1回 JCOADiT 全国実務担当者会議 2/12・WEB 神藤理事

JCOADiT 全国実務担当者メーリングリストを設置、連絡網の構築を行う方針となった。

5、令和4年度 診療報酬改定 整形外科領域 神藤理事

トピックス：

- ① 小児運動器疾患指導管理料の対象年齢が対象年齢12歳未満から20歳未満に改定
新井理事長、長谷川副会長など執行部とJCOA 社保委員会の尽力があった。3月中旬に届け出手続きについて通知がある見込み。
- ② 二次性骨折予防継続管理料(ハ)二次性骨折予防継続管理料3(500点)は診療所でも算定可能な見込み。(届出・資格・認定基準については現時点で決定されていない)
- ③ 装具採寸料200点は改定されず。既製品を処方して採寸料を算定することは不可、採寸時に医師立ち会うことが必要(長谷川会長)。

6、令和3年度第5回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

及び 整形外科医政協議会執行委員会 12/19・WEB 貴島理事

- ・学術集会倫理審査委員会(仮称)の立ち上げについて(長谷川)

JOAの「学術総会演題応募における倫理的手続きに関する指針」の導入に伴い、JCOAとしても今後対応が必要になるため、学術委員会より学術集会倫理審査委員会(仮称)を立ち上げる方向で進めることが承認された。

- ・令和4年度学術賞・学会功労賞・学術奨励賞の選考について(大山)

学術奨励賞は神藤佳孝会員(大阪)が候補者として推薦され承認された。

- ・運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟(第14回12月7日)(新井)

1) 令和4年度診療報酬改定に関し、1. 小児運動器疾患指導管理料の適応年齢の引き上げ、2. 運動器リハビリテーション(I)と脳血管疾患等リハビリテーション(II)を同一点数に の二項目を説明し、要望した。

2) ロコモティブシンドロームの普及と対策について説明を行った。

- ・関節可動域表示ならびに測定法改訂について(新井)

足関節・足部における可動域表示ならびに測定法の変更(外がえし・内がえし、回外・回内、基本軸)令和4年4月1日発効。

7、令和3年度第6回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

及び 整形外科医政協議会執行委員会 2/27・WEB 貴島理事

【審議事項】

- ・令和4年度名誉会員候補者の推薦について(新井)

前中孝文会員(大阪)を含む7名の令和4年度名誉会員候補者の推薦が承認された。

- ・運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査（7年目）の実施について（新井）
令和4年度も同様の内容でアンケート調査を行う事が承認された。
- ・柔整問題解説の一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」について（小野）
一般向けの小冊子で会員向けに配布、JCOA ホームページの会員の部屋にPDF掲載する。
- ・新型コロナウイルスお見舞い金（7日以上休診で5万円給付）の期間延長について（木内）
対象期間を令和5年の3月31日まで延期することが承認された。

【各種報告事項】

- ・令和4年度診療報酬改定について（新井）
 - 1) 小児運動器疾患指導管理料の対象患者の年齢を12歳未満から20歳未満に拡大
 - 2) 疾患別リハビリテーション料における標準的算定日数を超えてリハビリテーションを行う場合において、月1回以上機能的自立度評価法（FIM）測定を要件化。
 - 3) リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション実施総合計画書の署名の取り扱い
 - 4) 湿布薬の上限枚数の変更（1処方につき70枚から63枚に変更）
 - ・他に、大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理料の新設、処置・手術の新設や増点等があることが報告された。
- ・小児運動器疾患指導管理料算定のための研修会の受講について（新井）
令和4年度診療報酬改定に伴う施設基準申請に際しては、日整会ウェブサイトにて速やかにe-ラーニング受講を済ませ、受講証明書を取得するように報告があった。

8、大阪臨床整形外科医会療法士会 第56回勉強会 1/10・WEB 白木副会長

『超音波セミナー』第3弾 ～頸から肩の痛みを中心に～ を開催。

参加は会員7名、非会員51名 開催費用132,198円（参加費収入109,000円+助成金）

9、令和3年度第4回総務委員会 1/26・WEB 邊見理事

新規JCOA会員入会者を増やすための取り組みについて討議。東京都の会員減少数、減少率が突出。長谷川会長より、個人情報の問題もあり大阪での取り組みを一様に他府県に適用することは困難、大都市圏以外では新規開業者数が減っているのではないかと調査のうえ対策を考えるよう提案あり。

10、令和3年度第4回医療システム委員会 2/2・WEB 宮崎理事

- ・一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」は一般向けに分かりやすい内容となっており、ご利用してくださいとのことであった。
- ・寝違えは柔整で外傷として取り扱われているが、関節可動域を超えた捻れや外力によって身体の組織が損傷を受けた状態ではないため外傷ではないことが確認された。

1 1、令和3年度JCOA医療システム委員会、日整会広報渉外委員会合同委員会

宮崎理事

・令和3年度JCOAシンポジウム「柔整療養費審査会の問題点」について報告した。

・医業類似行為に係る健康被害等報告まとめ（令和3年1月~12月、128例）

健康被害報告の職種は柔道整復師が最も多く79.3%であった。柔道整復師の業務範囲外である非外傷性にまで施術していることが要因の1つとして考えられる。

【協議、検討事項】

・医師以外の超音波エコー使用問題について

理学療法士がエコーを使用する場合でも患者への説明や診断は医師が行うべきである。

1 2、第62回大阪整形外科症例検討会 2/5・WEB 山口理事

発表者・座長以外はWeb参加で開催された。

特別講演「骨粗鬆症の薬物治療 一骨形成促進薬の適応と効果を中心にー」

演者：慶友整形外科病院 骨関節疾患センター長 岩本 潤 先生

第62回大阪整形外科症例検討会世話人会（同日開催）にて

新世話人として北摂総合病院 劉 長勸先生よりご挨拶。

第63回当番世話人は山口医院 山口眞一先生に決定。

次回一般演題の座長は当番世話人の山口先生とアステラス製薬(株)で調整し、

日程は2022年9月24日に決定。特別講演演者については三重大学須藤先生で交渉中。

1 3、JCOA学会編集委員会

山口理事

議題：非会員である主著者から投稿された国際プロジェクト論文の英訳費用（概算81,950円）を雑誌投稿規程集の文言不備などを認め、今回は会員からの投稿同様、無料とする。（学会雑誌編集委員会）

（経緯）先般、非会員の主著者の国際プロジェクト論文へ投稿、受理された論文に関し、主著者へ請求予定の英訳費用を通知したところ、主著者より「英訳なしの和文一般論文に変更することは可能か」との返事があった。著者が非会員の場合、英訳費用が主著者に発生することは投稿規程に明記されており、主著者がこれを理解されていなかったことが問題ではある。

*今後の解決策について

非会員からの国際化プロジェクト論文投稿の場合、「英訳の依頼前に主著者へ費用見積を通知し、承認を得たのちに発注が良い」、との意見が学会雑誌編集委員会委員の大勢であった。また今後、英訳費用負担の取扱いに混乱を生じないように、委員会内で投稿規程の記載内容変更を検討する。

1 4、地域情報委員

調子理事

後期高齢者医療健康診査の質問票（2020年度開始）から抽出された身体的フレイル対象者に対するロコトレ普及の啓発について、各地区医師会へ働きかけをしていく予定。

15、広報委員会

調子理事

OCOA 会報 48 号の内容の報告があり、追悼文等の追加の執筆依頼があり了承された。

OCOA 会報 48 号発刊スケジュール予定

原稿締め切り 5/13 広告締め切り 6/3 著者校正 5/16～5/31

広報担当理事校正 6/6～6/13 校了 6/17 印刷・製本 6/20～7/4 納品・出荷 7/8

16、大阪マラソン

荻野理事

協議事項「その他」に変更

17、研修会推移

木下副会長

平成 29 年度から令和 3 年度までの定例・特別研修会の推移が報告された。

令和 1 年に比し令和 3 年度は WEB 研修会のため減少傾向にあると報告された。

18、令和 3 年度研修会実績

木下副会長

令和 3 年度の各 WEB 研修会の参加人数等の報告がされた。

19、療法士会 実績

木下副会長 白木副会長

平成 23 年度（発足）から令和 3 年度までの実績（経理報告・会員数・研修会・学会発表等）が報告された。

新型コロナウイルス感染症流行により令和 2 年度以降、あまり活動ができていない。

20、令和 3 年度 OCOA 各種委員会報告

各担当理事

令和 3 年度の各委員会の活動報告がされた。

21、研修会実施報告

堀口副会長

大阪臨床整形外科医会スポーツ研修会(令和 4 年 1 月 29 日 WEB 研修会 E-TEST なし)

共催 無 16:00～ 視聴者数 178 名(会員 94 名 非会員 84 名)

第 347 回大阪臨床整形外科医会WEB 研修会(令和 4 年 2 月 19 日 WEB 研修会)

共催：科研製薬 視聴者数 125 名(会員 86 名 非会員 39 名)

22、その他

長谷川会長

骨と関節の日、ロコモ健康フォーラム

大成理事

新型コロナウイルス感染症流行状況から 1 つにまとめることも考慮。対面での開催を目指す。

監事の退任、新就任

今期で退任予定の松矢浩司監事、次期監事就任予定の森本清一理事から挨拶があった。

この議事録は、
定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 4 年 3 月 5 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長 長谷川 利雄



監事 松矢 浩司



監事 黒田 晃司

